

福島県男女共生センター 事業紹介(一部)



研修事業

研修講師派遣事業

市町村やNPO等各種団体における研修、学習会等への講師としてセンター職員を派遣します。また、市町村や団体等が講師を選定する際の情報提供等を行います。

復興・防災と男女共同参画に関する人材育成事業

復興・防災活動において、男女共同参画の視点(女性や高齢者、障がい者、セクシュアルマイノリティ、外国人など、性別や多様性に配慮)を持って対応できる人材の育成のため、行政担当者向けの研修や市町村への出張講座を行います。

普及啓発事業

男女共生地域連携意見交換会「未来館トークサロン」

県内各地を館長が訪問し、地域の男女共同参画について自由に意見交換をします。(R5テーマ「女性と政治参画」「公民館と男女共同参画」)

コロナ禍における女性のつながりサポート事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、生活に困難や不安を抱える女性が社会との絆やつながりを回復できるよう、電話相談・居場所の提供など相談支援体制の強化と、生理用品の提供を行います。

市町村男女共同参画促進事業

地域における男女共同参画意識の普及啓発を図るため、市町村等が実施するイベント等において、男女共同参画関連パネル等の移動展示を行います。

相談事業

相談室

日常生活の中で直面するさまざまな人間関係から生じる問題や悩みについて、電話や面接による相談を行っています。【開設時間：9時～12時・13時～16時(水曜日は13時～17時・18時～20時)】

- 一般相談(電話・面接・予約制)
- 専門相談(面接・完全予約制)
 - ・法律相談(主に第3水曜日)
 - ・女性のためのカウンセリング(主に第1・3金曜日)
- 男性相談員による相談(火曜日17時～20時・電話のみ)

相談&予約専用電話(相談無料)

TEL.0243-23-8320

情報事業

情報提供

男女共同参画に関する情報をホームページ、SNS、メールマガジン(月1回)により提供します。

広報活動

広報誌「未来館NEWS」を発行するほか、県政広報その他各種媒体による紹介を行います。



上記以外にも
さまざまな事業
を行っています。
詳しくはHPを
チェック!

視察を終えて(編集委員より)

- 福島県男女共生センターは開館当時の女性の学習拠点という位置付けから、社会の変化に応じているるな役割を担ってきたと知りました。セクシュアルマイノリティの方や男性の悩みへの対応、女性の起業に対する支援、復興・防災に関する人材育成など、全ての人が生きやすい社会を目指しています。
- 福島県男女共生センターの調査研究事業では、福島県という地域性を考慮した意識調査(福島県の高校生のジェンダー環境に関する調査等)を実施するなど、さまざまな視点から問題を取り上げていることが分かりました。いわき市内の図書館でも、それらの本は閲覧できます。

令和5年度事業報告

第22回福島県男女共生のつどい

日時：令和5年11月12日（日）13：00～
場所：いわきアリオス 中劇場

県内市町村の女性団体等が主体となり毎年開催される大会が、いわき市の「男女共同参画の日」事業とあわせて開催されました。

「男女共同参画に関する川柳・写真」表彰式

※入賞作品などはP6～7に掲載しています。



講演会



働く女性の健康を守る

～産婦人科医が伝えたいカラダのこと、ココロのこと～

●講師 / 丸の内の森レディースクリニック
院長 宋 美玄 氏

産婦人科医の視点での分かりやすいお話に参加者からは、「大変勉強になった」、「男女ともに学ぶべき」、「自分の子どもや孫に伝えたい内容だった」などの感想をいただくなど大変好評でした。



転入女性交流のつどい

日時：令和5年10月31日（火）、12月5日（火）10：15～
場所：いわき産業創造館 企画展示ホール

本年度2回目、3回目となる交流会が開催されました。参加者はそれぞれ自己紹介した後、日常生活や育児の話題などで和やかに懇談し、親睦を深めていました。



女性活躍推進セミナー

日時：令和5年12月20日（水）14：00～
場所：いわき市文化センター 3階 大会議室



アンコンシャス・バイアス研修

～誰もが生きやすい社会へ～

●講師 / さくら人材コンサルティング株式会社
代表取締役 伊藤 明美 氏

組織や自身の中にあるアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み、偏見）に気づくことで、誰もが働きやすい職場環境を目的に実施しました。

アンコンシャス・バイアスの基礎知識やコミュニケーションの重要性などのお話に参加者からは、「無意識の思考習慣について改めて考える機会となった」、「アンコンシャス・バイアスについて理解が深まり、コミュニケーションをしっかりとっていかねばならないと感じた」、「相手の思いや気持ちを聞くことが重要だと思った」などの感想をいただきました。

